

ケボニー 127 幅キャラクター外壁材 90° シップラップ施工ガイド

※縦張り専用

はじめに

Kebony 外壁材の施工要領は、基本的に一般的な無垢の木質外壁材と変わりありませんが、一部注意や配慮が必要な特性もございます。＜当施工ガイド＞をご理解いただいたうえで、正しい施工をお願いします。

Kebonyの特性に起因する施工上の注意

□ステンレス製の釘を使用してください。鉄・ユニクロ・銅・真鍮などの場合、釘穴の周りが金属のさびにより黒く汚れる場合があります。（ケボニー材はやや酸性に振れています）

また、フィニッシュネイルなど保持力の弱い釘は使用しないでください。（保持力の弱い釘を使用する場合は接着剤を使う など保持力を確保した上で施工してください。）

□Kebony 材から流れ落ちる雨水により、ガルバリウムなど亜鉛を含む製品の変色を引き起こす可能性がありますのでご注意ください。（Kebony 材中に残るクエン酸が雨水に溶け込み、弱酸性となるためです。）

□釘打ち時の割れを防ぐため、木口に近い部分に釘を打つ場合は下穴をあけることをお勧めします。それ以外の場合でも、木端・木口から十分に離れた部位に釘を打ったり（20mm 前後以上が目安）、下穴をあけたりして割れを防ぐ施工を心がけてください。（ケボニー材は未処理材に比べ硬くなっています。）

□割付の際は板と板の間、他の部材と突き合わせる箇所において 2mm のクリアランスを設けた上で施工してください。（未 処理材に比べ平衡含水率は低く寸法安定性も高いのですが、条件によっては膨張による突き上げのリスクがあるためです。（図 1 参照）

□キャラクターグレードの切断面には、ホルサー油剤等（日本木材保存協会認定）木材防腐・防蟻剤をご使用ください。

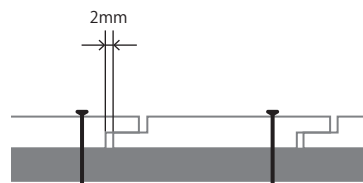
施工要領

□下地の胴縁（もしくはタテ胴縁）の間隔は、最大 455mm（500mm）としてください。

□長手方向の継ぎ手は、胴縁の上で継ぎ合わせてください。

□釘打ち部位について、実の重ね部分に釘を打たないでください。釘の位置は重ね部分を避けたすぐ上近くなります。（図 1 参照）

図 1（上面図）



NISSIN EX.

株式会社 ニッシンイクス

www.nissin-ex.co.jp

本 社 山口県周南市鼓海 2-118-63
東 京 支 店 東京都港区赤坂 1-3-6 赤坂グレースビル 5F
大 阪 事 務 所 大阪府大阪市中央区南船場 3-8-7 三栄ムアビル 503
福 岡 事 務 所 福岡県福岡市博多区博多駅東 1-16-8 IT ビル 4F

〒745-0814 TEL 0834-36-1700 FAX 0834-36-1711
〒107-0052 TEL 03-5573-9177 FAX 03-5573-9179
〒542-0081 TEL 06-4708-4711 FAX 06-4708-4722
〒812-0013 TEL 092-409-2410 FAX 092-474-7002